

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年2月5日 (2009.2.5)

【公表番号】特表2004-535402(P2004-535402A)

【公表日】平成16年11月25日 (2004.11.25)

【年通号数】公開・登録公報2004-046

【出願番号】特願2002-590923(P2002-590923)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/436 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 7/04 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 17/12 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 21/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 37/02 Z N A

A 6 1 K 31/436

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 7/04

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 17/12

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 21/04

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 43/00 1 1 1  
C 1 2 N 15/00 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 4 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 4 1】

免疫応答を調節するために、可溶性CTLA4分子（好ましくはL104EA29YIg）を以下の薬剤の1つまたは複数と併用することもできる：可溶性gp39（CD40リガンド（CD40L）、CD154、T-BAM、TRAPとも呼ばれる）、可溶性CD29、可溶性CD40、可溶性CD80（例えばATCC68627）、可溶性CD86、可溶性CD28（例えば68628）、可溶性CD56、可溶性Thy-1、可溶性CD3、可溶性TCR、可溶性VLA-4、可溶性VCAM-1、可溶性LECAM-1、可溶性ELAM-1、可溶性CD44、gp39と反応する抗体（例えばATCC HB-10916、ATCC HB-12055およびATCC HB-12056）、CD40と反応する抗体（例えばATCC HB-9110）、B7と反応する抗体（ATCC HB-253、ATCC CRL-2223、ATCC CRL-2226、ATCC HB-301、ATCC HB-11341など）、CD28と反応する抗体（例えばATCC HB-11944またはMartinら（J. Clin. Immun.4(1):18-22, 1980）に記載のmAb 9.3）、LFA-1と反応する抗体（例えばATCC HB-9579およびATCC TIB-213）、LFA-2と反応する抗体、IL-2と反応する抗体、IL-12と反応する抗体、IFN- と反応する抗体、CD2と反応する抗体、CD48と反応する抗体、任意のICAM（例えばICAM-1（ATCC CRL-2252）、ICAM-2およびICAM-3）と反応する抗体、CTLA4と反応する抗体（例えばATCC HB-304）、Thy-1と反応する抗体、CD56と反応する抗体、CD3と反応する抗体、CD29と反応する抗体、TCRと反応する抗体、VLA-4と反応する抗体、VCAM-1と反応する抗体、LECAM-1と反応する抗体、ELAM-1と反応する抗体、CD44と反応する抗体。一部の態様では、モノクローナル抗体が好ましい。別の態様では、抗体断片が好ましい。この組み合わせに、本発明の可溶性CTLA4分子と1つの他の免疫抑制剤、可溶性CTLA4分子と2つの他の免疫抑制剤、可溶性CTLA4分子と3つの他の免疫抑制剤などが包含されることは、当業者にはすぐに理解されるだろう。最適な組み合わせおよび投与量の決定は、当技術分野で周知の方法を使って決定し、最適化することができる。